(4面)

(5面)

(6面)

(7面)

(8面)

就農者数は、前年比0・

は、17年に6万人を割り

込み、3年連続で5万人

者」は前年並みの4万2 った「新規自営農業就農 農業への従事が主」にな て勤務が主」から「自営

た経営の責任者や共同経

にみると、男性が4万2 台にとどまった。男女別 1%増の5万5870人

を公表した。

全体の新規

全体の新規就農者数

年の新規就農者調査結果

となっている。

農水省は4月30日、

19

新規就農者の確保が課題

家族経営体の世帯員で、

で、前年に続き1万人を 1・2%増の9940人

ト回った。このうち49歳

門別に新規参入者数をみ

以下は2270人で、3

・8%減少した。営農部

16年度以来、4年ぶりに

った。北海道がけん引し、

700万少を超えた。

受けた。飲用牛乳等向け

家庭内消費の増加で

「新型コロ・

特集のテー

染症によるi

に絞り、多

指定団体の総受託乳量

人だった。このうち49歳 は1・2%減の3200

2年連続で前年度を上回

6万8205かとなり、 なし、以下同じ)

の 7 0

「学生」や

「他に雇われ

以下は7090人で、

О

ると、露地野菜作が96

人と最も多く、次いで

4%増加した。

土地や資金を独自に調 し、農業経営を開始し

果樹作が620人となっ

年度の地域別の受託乳量

・0%増の400万71

北海道が前年度比2

少したため、液状乳製品

務省の「家芸

に、食料消

業務用の需要は大きく減

約55%を占めている。20 は、全国の生乳生産量の

123%だった。一方、 1・1%増の325万3

施設野菜作が640人、

# 〈今月の紙面〉

知っておきたい話」 (2面) 穀物・大豆の国際価格は弱含み (3面)

> 下) で、3・9%減少し 2%、前年比1・3浮低 8540人 (全体の33・ 代を担う40歳以下は1万 だった。このうち、次世

2・6%増となっている。

新規学卒就農者は670 で、7・0%減少した。 ち49歳以下は9180人 740人だった。このう

生

39・1%減と大き

女性が1万3770人で 100人で0・7%減、

- ・農業従事者への感謝66%でトップ
- 豪雨への対応、今一度確認
- 牛群検定で飼養管理の問題把握 ・発生本格化前にサシバエ対策を
- 畜産物需給見通し

年連続で2万人を上回っ

性1万3930人、女性 このうち49歳以下は、男

た。14年から17年まで4

たが、18年に1万929

4620人で、

0人となり、19年はさら

2 6 %

53・9%を占めている。 万3050人で、全体の く減った。60歳以上が2

法人などに常雇い

維持・強化には、

就農形態別にみると、

間7ヵ月以上) として雇

全国の農林業経営体数

なった(農業と林業の複

7千となり、それぞれ3

49

歳以

**2**年

連

泛続2万·

割

19 年

新規就農3年連続5万人台

た「新規雇用就農者」は

用されることにより、農

営者である「新規参入者」

業に従事することとなっ

発 行 所

公益社団法人全国開拓振興協会 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 TEL 03-3586-5843

FAX 03-3586-5846 ·ムページ http://www.kaitakusya.or.jp 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

# 農水省は4月27日、「2020年農林業センサ セ2 ンサ2 サス年 法 (2月1日現在)を公 人化 規模拡大は進

族経営体と組織経営体 体」、法人化している家 家族経営体を「個人経営 20年調査では、 ごとに実施されている。 体の法人化や規模拡大の進展は継続している。 少率は、ともに20%を超えた。一方で、農業経営 うち、個人経営体数及び基幹的農業従事者数の減 り、5年前に比べ30万2千減った。農業経営体の (非法人含む)を併せて 表した。全国の農業経営体数は107万6千とな 団体経営体」とした。 ス結果の概要(確定値)」 農林業センサスは5年 非法人の 2%)減った。このうち、 万6千に、林業経営体数 農業経営体数は30万2千 は109万2千で、5年 減の3万4千にそれぞれ は5万3千 (61・1%) 前に比べ31万2千(22・ (21・9%) 減の107

%)減と大きく減った。 経営体が3万1千で4千 団体経営体のうち、法人 万8千となり、1千(2 合経営有り)。 十で、30万3千(22・6 (13・3%) 増加。法人 8%) 増加している。 経営体数は103万7 農業経営体のうち、 団体経営体数は3

は2万、農事組合法人は 内訳をみると、会社法人 合は8・1%となった。 に占める法人経営体の割 化が進展し、団体経営体

主副業別農業経営体数(個人経営体)(全国) ☑ 主業経営体 ■ 準主業経営体 ■ 副業的経営体 15年

営農業に6日以上従事し 万3千で11万6千減、副 で6万1千減、農外所得 の主業経営体は23万1千 にみると、農業所得が主 業的経営体(1年間に自 が主の準主業経営体は14 個人経営体を主副業別 1千増加した。 的経営体が4・0%とな 営体が22・3%、準主業 1)。結果、個人経営体 12万6千減となった(図 がいない) は66万4千で 経営体が13・7%、副業 に占める割合は、主業経

ている65歳未満の世帯員 15年 基幹的農業従

また、経営耕地のある

応」など7項目。

を品目別に記述す う価格低下の推移

豚熱

へ の 対

の推進」「鳥インフルエ

農畜産物の需要減少に伴

業従事者(仕事が主で、 事者40万人減

主に自営農業に従事した 世帯員) は136万3千 人で、39万4千人(22・ 4%) 減少した (図2) 個人経営体の基幹的農

292 (21.8) 259 (19**.**3) 1,340 (58.9)143 (13.7) 664 231 20年 1,037 (64.0)(千経営体 200 400 600 800 1,000 1,400 1,200 図2 年齢別基幹的農業従事者数(個人経営体)の構成(全国) ☑15~49歳 ■50~59歳 □60~64歳 □65歳以上

174 (9.9) \_ 201 (11.4) 1,757

242 (13.8) 1,140 (64.9) 147 (10.8) ┌127(9.3) 949 20年 1,363 (69.6)140(10.3) 600 200 400 800 1,000 1,200 1,400 1,600

2とも )内の数値は、

1,800 2,000 〇・8歳上昇。65歳以上 平均年齢は67・8歳で、

下「白書」

)の本文案に

因で輸出規制を実施した

ついて議論

した。

食料・農業・ 企画部会を記

農村白書(以

が、同感染症の拡大が原 など穀物輸出国等19ヵ国 ぐる動きとして、ロシア

開き、20年度 村政策審議会

農業農

農水省45

食料、農産物需要をめ

注:図1、 農業経営体数をみると、 7千人減った。 4・7 浮上昇した。 15~ の割合は69・6%となり 7・7浮上昇した。 経営体が55・3%を占め、 割合は、10診以上の農業 上の各層で増加してい 層で、都府県では10診以 49歳は14万7千人で2万 経営耕地面積規模別に 経営耕地面積の集積

ジェクト」

「農業・食関

りの食料シ 出の新たなが

「スマート

農業実証プロ ステム戦略」 戦略」「みど 物・食品の輸

紹介する。

「農林水産物

への影響回避に向けた国 れるなど、食料安全保障 輸出規制の抑制が提案さ ことを指摘。国際会議で

際強調を推進する動きを

巻頭のトピ

ピックスは、

連産業での

デジタル変革

影響と新たな動きでは、

農業生産・販売面での

•5診(同26・5診、 1.8%) ・2診) で、5年前の2 海道30·2
診、都府県2 たりの面積は3・1 診(北 から0・6診 同

感染拡大の影響を大きく は、新型コロナウイルス は0・9%減だった。 たが、乳量が最大の関東 **農業経営体の1経営体当** 20年度の用途別販売量 れた。 求める意見が 生産力向上 解されるよ 者、消費者等に理 が農業者や事業 の委員から、 目指すもの の環境負荷が テム戦略は、 かりやすい で同戦略の

みどりの食料シス う、 分 が出さ 記述を 必要性 などを 軽減や 白書 複数 り戦略」など み ど

食料・農業・農村白書案

とや、地方への移 が高まっているこ れ、地方への関心 が進展するにつ を問わない働き方 レワークなど場所 な動きを記述。テ 交流に関する新た の関心や働き方、 る。さらに、地方へ けた動きも紹介す の維持・拡大に向 るとともに、販路

響を記述する。まず、総 外食への支出 消費は増加。 減少した。 一 3月以降、前 費への影響を 計調査」を基 岐にわたる影 影響と対応」 ナウイルス感 まっていることを記述す とを指摘。食料自給率の 化への期待がますます高 スクが多様化しているこ 同感染症の拡大など、食 いることを取り上げる。 向上や食料安全保障の強 料自給に影響を及ぼすり 今後の対応に向けて、 住意向が増加して

文案は承認された。同省 議論の結果、白書の本

# 20年度 指定団体受託乳量 2 続 増 やや上回る306万11 %)、都府県は前年度を 05%。北海道は17年度 00ヶ(全体の56・7

加し、特に長期保存でき

工用に仕向ける生乳が増

る脱脂粉乳・バター等向

6263シとなった。加

年と比べ、

額が大きくは

は5・1%減の124万 向け(生クリーム等向け)

20年

定団体)の用途別販売実 20年度累計の総受託乳量 (生産量) は前年度比1

指定生乳生産者団体(指 4月16日、21年3月分の 中央酪農会議(中酪)は 績(速報)を発表した。

・1%増(うるう年修正 増産基調が続いて

の5・7%増をはじめ、 いる。都府県では、中国 九州で増産となっ 増だった。 となり、6・3%の大幅 けは168万9444½

> 長期保存が 方、家庭内 出額が増え た。 肉などへの支 食品等の加工 可能な米、小 は5月下旬の閣議決定を 目指している。

麦粉、

占禁止法の適用除外にな

対抗力を形成するための

は削除され、加えて事業 じて販売する義務など) 合員が生産物を農協を通

が強化されつつあること るという「卑劣な」手法 用除外」をなし崩しにす 協を摘発し、実質的に「適

い買い手に対して農家が

特に、取引交渉力の強

農協による共同販売は独

報

(2)

# 食料・農業 知っておきたい話 第97回

# 先般の規制改革推進会 追い込まれた。こうした 東京大学教授

だと何が問題なの シェアが高いまま うような暴論だったの か〜酪農家の選択 に関する議論は、耳を疑 で、前回に続いて検証し グループ)での生乳取引 ▼既存の系統流通

開 情 拓 能を持たない業者を新規 る。そこに、需給調整機 が働くからこそ可能にな 把握され、需給調整機能 れるのは、指定団体とメ 可欠な牛乳・乳製品を消 のか。子供の成長にも不 ぼけたことを言っている のシェアが増えていない つまり、アウトサイダー た生乳を処理できなくな 参入させた結果、購入し 費者に過不足なく届けら のが問題だとは、何を寝 アが低くなっていない、 流通によって<br />
、取引量が カーを通じた秩序ある

こり、農家は生乳廃棄に



議のWG(ワーキング・ 系統外流通は、生乳が不 系統流通の良さが再認識 足基調のときは問題が顕 されて、求心力が働く。 る。そうなれば、既存の 突然取引が打ち切られて ところに飛びついたら、 需給が緩むと破綻する。 在化しないが、ひとたび **農家が思うのは当然であ** しまうかもしれないと酪 これを見たら、こんな

れば、それが契約である。

定では、専属利用契約(組

既存の系統流通のシェ である。 らさないと改革ではない 失敗したから、シェアは ら酪農家が選択している 間違っていたことの証左 なせいではなく、改革が 改革はしてみたけれども る。酪農家の選択を批判 という論理は破綻してい も系統流通のシェアを減 維持されているのであ するのは間違っている。 通のほうが信頼できるか 結果であり、 無理やりで つまり、既存の系統流 それは改革が不十分 うことである。 や「いいとこ取り」のこ 改定が間違っていたとい なくなるような畜安法の とを議論しなくてはなら とになっている。だから、 らとやかく言われないこ との契約(内規)は外か であり、日本の独占禁止 そもそも、「二股出荷」 法でもそうなっている。 を主張すべき っているのが世界の常識 つまり、農協と組合員 ・生乳共販の権利

# るんではいけない 不当な攻撃にひ

めの誘因となる自主的な

える。

には、共販に結集するた

と同じ思惑がここにも見

いないか。

畜安法の改定

という論理矛盾になって を助長し、共販を壊す、 認めながら、「ただ乗り」

共販が有効に機能する

のようなことを指示され いけないのだろうか。そ て農協だけは拒否しては 止される。それをどうし 約違反があれば取引は停 に基づいて行われる。契 どんなビジネスも契約 貢献をする」 序の維持促進に積極的な 反だというなら、共販を は不可欠である。 ルール(ある程度の縛り) 「公正かつ自由な競争秩

それなのに、それを違

制改革会議の発信や独禁

系統組織や酪農家は規

法の厳格適用を恐れては

いけない。萎縮効果を狙

(22条) と

世界的にも認められてい たら、思うつぼにはまる。

そのためには、一方で、

った動きに過剰に反応し

規制改革推進会議の暴論の検証(第2弾) る筋合いはないだろう。 それが契約であり、部分 更は認めない)をしてい 農協と組合員が全量出荷 委託契約(年度途中の変 鈴木宣弘氏 なっている。農協法の改 農協法の改定を行って、 農協共販つぶしに躍起に らに強化されようとして 法の適用除外」をなし崩 し、「農協共販の独占禁止 止法の適用除外」(22条) しにするような畜安法や を日本だけが逆に問題視 世界の常識であり、さ る。農水省の元幹部は日 禁法の適用を強化して農 を余儀なくされた」と述 クユーモアのような改正 業者になるというブラッ がいの集乳業者が指定事 しての再検証が必要であ 本農業新聞のコラム記事 そして、解釈変更で独 「アウトサイダーま

る権利を損なう内容であ らないと新たな規定を設 り、専属利用契約を削除 除外として認められてい 自に販売すればよいだけ ば、組合員にならずに独 契約に同意できないなら けてしまっている。本来、 の利用義務を課してはな した農協法の改定ととも 国でも独占禁止法の適用 畜安法の改定は、我が 佐あきに対して、公正取 引委員会は、ナスの販売 について、組合員に対し 3月29日、高知県JA土 も看過できない。 て系統以外に出荷するこ たとえば、2017年

に独占禁止法と矛盾する 改定が行われたことに対 令を下した。ナスの部会 織で、 当するとして排除措置命 とを制限する条件をつけ は元々農家の自主的な組 て販売を受託していたと いう拘束条件付取引に該 共同出荷施設を維 共同販売を促進す

す重大な事態である。 いる22条の根幹を揺るが 独禁法の適用除外として

そ、結束を強化し、メー る共販の権利は堂々と主 ける使命を果たそう。 を不足なく子供たちに届 界、消費者が一丸となっ 大して、生産者、関連業 秩序ある流通をさらに拡 義が再確認された今こ 張し続けるべきである。 て、大切な牛乳・乳製品 カーとしっかり連携した そして、生乳共販の意 真剣に向き合う必要があ ある。たとえば、自身の 織がどれだけ応えられる で対応できるか、といっ 想いに系統流通がどこま 狭い地域ブランドで販売 自慢の牛乳をできるだけ か、一層の工夫も必要で 酪農家の願い・要望に組 したいといった酪農家の た課題にも業界を挙げて

食品ロス量(2018年度推計値)

2018年度

600万トン

324万トン

276万トン

2017年度

612万ト

328万トン

284万トン

# デジタル技術活用を推 進

# 農水省、「農業DX構想」取りまとめ

ル変革(DX=デジタル 業・食関連産業のデジタ ェクトを提示した。 進する多種多様なプロジ まとめた。AI(人工知 ・トランスフォーメーシ デジタル技術の活用を推 能)やデータの活用など、 ョン)を推進するため、 「農業DX構想」を取り 農水省は3月25日、農 取り組むべきプロジェク のインターネット) 等の ポイントは次のとおり てきた。農業DX構想の ト等について議論を進め X構想検討会を設置し ト、AI、I oT(モノ 力不足が進む中、ロボッ 技術の現場実装を強力に ▽意義と目的 農業者の高齢化や労働

の推進」を掲げている。 が系統利用を強制したと るために、自らで作って 展開におけるデジタル化 することは、農協共販を の判断がなされた。こう いた規約に対して、農協 同省は今年1月、農業D 計画では、「農業施策の した活動を独禁法違反と 食料・農業・農村基本 進めることにより、デー え、消費者が価値を実感 費者の需要をデータで捉 タを活用した生産性の高 い営農を実行しつつ、消

食品ロス2%減の⑩万シ 事業系1%減、家庭系3%減 18年度

計値を公表した。食品ロ いる食品) の発生量の推 年度の食品ロス(本来食 ス量は前年度比12万% べられるのに捨てられて 農水省は4月27日、 前年度との比較 **▲**3% 18 と推計した。 品ロス(規格外品、返品、 者から発生する事業系食 (2%)減の600万% 内訳は、食品関連事業

生する家庭系食品ロス 4万少(1%)減の32 接廃棄) が8万ヶ(3%) の皮などの過剰除去、 売れ残り、食べ残し)が 減の276万シ。いずれ 4万少、一般家庭から発 (食べ残し、野菜や果物 推計を始めた12年度 直 っている。 「国民運動」 日本におい

▲8万トン

古。これは、年間1人当 ば(茶碗1杯分のご飯の ロス量は、1日約130 以降、最少となった。 量に相当) 、年間で約47 国民1人当たりの食品 されている。 品ロスの削 され、20年3月には、「食 品ロス削減推進法が施行 するため、 本的な方針 減に関する基

が閣議決定

者に1580・7いをそ 家)数は同じで、27事業 品を加工販売する酪農

れぞれ配分した。

食品ロス量

事業系食品ロス量

や食品を提供していく農 業への変革を実現。 できるような形で農産品 ▽実現を目指す姿 系プロジェ ②農水省の の整備に向い と農水省を つなぐ「基盤」 クト、③現場 「行政事務」

ジタル技術を活用した飼

示。動物衛生では、「デ

ェクト」を挙げた。 養衛生管理高度化プロジ

▽実現の時間軸

克服して消費者に価値を 届けられる農業。 しながら、デジタル技術 消費者ニーズを起点に ▽実現に向けたプロジ 様々な矛盾を クトを推進。 ①のプロジェクトのう けたプロジェ

を活用し、

ェクト(取組課題) 現場」系プロジェクト、 ①農業・食関連産業の 総合パッケージ」「先人 デジタル技術の活用」で ち、「生産現場における プロジェクト」などを提 の知恵活用プロジェク ト」「有機農業見える化 は、「スマート農業推進 動的に見直す。 内容・スケジュールを機 や産業構造の変化などに る。デジタル技術の進歩 な限り速やかに実行す 応じて、プロジェクトの 各種プロジェクトを可能 30年を展望しながら、

事業者に狙 21 年度 加工原料 万少配 乳補給金

象数量341万2950

2ヶを配分した。 21年度の補給金単価は

乳生産者補給金の交付対

87

律(畜安法)に基づき、 産経営の安定に関する法 農水省は4月1日、畜 号対象事業 87事業者(第2号と第3 く)に21年度の加工原料 者の重複除

生乳1き当たり8円26

銭、条件不利地からも集

乳する事業者に交付する

「集送乳調整金」の単価

然として多 き)に近い たりの米の 15年に国際 際連合で採択 い。 量であり、依 消費量(約54

に小売・消费 されたSDC りの食料廃棄物を半減さ ットの一つ 能な開発目標)のターゲ 品ロス削減 など、近年 せることが ける世界全体の1人当た の気運が高ま 盛り込まれる 費レベルにお に、30年まで Gs(持続可 国際的な食

ロス削減の取り組みを いても、食品 」として推進

19年10月に食 る指定事業者は前年度と を配分。10指定団体への 340万8621・6~ り1増え、10指定生乳生 乳を集めて乳業に販売す は同2円59銭。 含む14事業者となった。 る事業者)数は前年度よ 第3号対象事業者(乳製 事業者に2747・9小、 酪農家)数は3減り、49 業に直接生乳を販売する 変わらず、10指定団体。 集送乳調整金が交付され 配分が大部分を占める。 産者団体(指定団体)を 第2号対象事業者(乳 第1号対象事業者(牛

な成長となる」と見込ん

消費量の増加は依然とし

今回、

30年を目標年次、

拓

見通し」を策定している。 年後の「世界の食料需給

開

平均値)を基準年次とし

り強めつつ、やや低下に

ースで弱含みの傾向をよ 戻らないものの、実質べ 06年以前の低い水準には 資源・穀物価格高騰前の の国際価格は、中期的に

近い推移となる見通し

て、耕種作物・畜産物等

18年(数値は17~19年の

報

情

同研究所では毎年、10

# 政農林 水 産 10年 後 0 食料 需給を予測

国際

価

格

は弱含み

で最も低いと見込まれ

・0%と主要畜産物の中

北海道のほぼ中央に位

豆の国際価格は、弱含み ると見通している。 やや低下に近い推移とな の傾向をより強めつつ、 世界の食料需給について 踏まえて、30年における 型コロナウイルス感染症 見通し」を公表した。新 3月30日、「2030年 予測を行った。穀物・大 世界経済の大減速などを 染拡大防止措置等による における世界の食料需給 の世界的な流行に伴う感 農林水産政策研究所は 今後も見込まれる。 みられるものの、穀物・ 伴って収穫面積の減少が 込まれる。供給面は、 とした所得向上に伴っ 需要は、これまでの増加 総人口の継続的な増加と によって増加することが 大豆等の生産は主に単収 部の穀物で利潤の低下に 需要の漸進的な増加が見 て、食用需要及び飼料用 新興国及び途上国を中心 、ースを鈍化させつつ、 このため、穀物・大豆 る見通し。 する見通し。

までに比べてより緩やか みられ、世界経済はこれ くの国でより鈍化すると 中期的に、経済成長は多 に向けた不確実性はいま ナウイルス感染症の収束 たに大きい」とした上で、 試算の結果、「新型コロ 増加は弱含む。一方で、 心に総人口の増加による アジア及びアフリカを中 上国等の植物油消費量の て、アジアの新興国・途 経済成長の鈍化に伴っ 昇する見込み。 【植物油】中期的には

だ。世界の穀物等の需給 及び国際価格の予測結果 (概要)は次のとおり。 【穀物・大豆】世界の の上昇率は、穀物や大豆 その他植物油の国際価格 て継続する。 その結果、大豆油及び

米

農産加工、農産物直売所、

民宿は9・7%減の54億 %減の359億円、農家

下「同事業」)として、

農業生産関連事業(以

いる。観光農園は10・9

全体の96・3%を占めて

いる。

2桁台の減少率を示して 数、従事者数とも軒並み

68億円で、合わせると

加工が0・7%増の94

(3)

のそれを上回り、30年に 同じ) で6・4%上昇す おいて実質ベース(以下、 やや上回り、1・9%の とした消費量の増加によ 給への懸念の不確実性が って牛肉価格の上昇率を ある中で、アジアを中心 - 昇が予測される。

から伸びはやや抑えられ %と、世界経済の減速感 通し。ただし、国際価格 消費はより緩やかに増加 リカ等の経済の回復は緩 アジアの肉類消費は増加 の上昇率は30年に3・0 を嗜好する傾向は続く見 いことから、鶏肉の消費 や宗教的に忌避されにく 費者の健康志向の高まり 国や途上国において、消 やかに留まり、畜産物の するものの、中東・アフ 先進国だけでなく新興 【肉類】中期的には、 に比べて低く、上昇率が びはバター、脱脂粉乳等 おけるチーズの需要の伸 とした新興国・途上国に びは鈍化しつつも総人口 乳製品の1人当たり消費 需要は今後も増える見通 の継続的な増加により、 国も消費量は穏やかに増 基調で推移する見込み。 し。国際価格はやや上昇 量が低い新興国及び途上 でも所得の向上は続き、 鈍化傾向が見込まれる中 相対的に鈍化する傾向は 加する見通し。また、伸 ただし、アジアを中心 【乳製品】経済成長に

> の引揚者らが続けて入植 者、復員軍人、外地から た。東京や名古屋の被災 開拓地として開放され 室所有地) 2716 診が

った。岩石が多い場所も

あり、開墾は容易ではな

ざるを得ない開拓は厳し

かった。繁茂していた大

木の抜根作業は重労働だ

画だったが、人力で行わ

ルベシベ地区は開畑の計

美瑛原野地区は開田、

開協に所属した。

域に応じて、それぞれの 創立された。開拓者は地 五稜開拓農協の2開協が

48年、美瑛開拓農協と

かった。

牛肉価格の上昇率は1 増減率 (%) 16.2 17. 2 14.4 15. 1 17. 2 継続すると見込まれる。 23.8 17.7 18.8 20.0 31. 1 39.6 20. 7

量、需要量(消費量)な の20品目について、生産

フレーション)を勘案す

(表)。物価指数(イン

ると、名目価格はやや上

どを試算した。

主要品目別に見た基準年の価格と目標年の価格 (単位:ドル/トン(耕種作物)、ドル/100kg(畜産物)) 2030年(目標年) 基準年 品目 (2017-19年) 実質価格 名目価格 の価格 (%) 小麦 165 -0.2 192 トウモロコシ 163 164 0.6 191 400 392 457 -1.8 その他穀物 106 104 -1.2 121 大豆 343 345 0.6 402 植物油 710 755 879 6.3 牛肉 430 434 1.0 506 豚肉 144 146 1. 9 170 鶏肉 277 285 3.0 332 バタ・ 522 587 12.6 684 305 脱脂粉乳 219 19.8 262 3. 6 485 402 416 2030年における世界の食料需給見通し

る。豚肉価格は、アフリ カ豚熱等の疾病による供

柘

べ地区の旧・御料林(皇 を形成している。 い。戦後開拓集落による 面積は約6万8千窓で、 置する上川郡美瑛町は、 習地6798診、 ルベシ 瑛原野地区の旧・陸軍演 緊急開拓事業により、美 広大な農地が美しい景観 内陸性で寒暖の差が大き な自然環境が特徴の町。 人口は約1万人。 気候は なだらかな丘陵と緑豊か 1945(昭和20)年、

# 拓魂」

年間総販売額 19年度 農業生産関連事業 4年連続2兆円超

6次産業化

家レストランの事業体 兆円を超えた。ただ、観 度に比べ1・3%減少し 2兆773億円で、前年 全国の農業生産関連事業 表した19年度6次産業化 光農園、農家民宿及び農 たものの、4年連続で2 総合調査結果によると、 による年間総販売金額は 農水省が3月31日に公 と最も多く、次いで農産 4%減の1兆534億円 物直売所が前年度比2・ を業態別にみると、農産 を調査した。 農家レストランを営む事 上)金額、従事者数など 等)を対象に、販売(売 業体(農業経営体、農協 観光農園、農家民宿及び 全国の年間総販売金額 数は6万4070で、3 円、農家レストランは7 〇(〇・1%減)となっ 産物直売所が2万365 と大きく増え、次いで農 2400 (16・3%増) ・1%減の357億円だ みると、農産加工が3万 ・4%増えた。業態別に

全国の同事業の事業体 所が4453万円(1・ 円 (10・9%増)、農家 ・4%減)、農産物直売 販売金額をみると、農産 減っている。 5%減)と減ったのに対 加工が2922万円(13 し、観光農園は679万 1事業体当たりの年間

0%減)、農家レストラ 90 (19・7%減)、農 ている。観光農園は52 減)と、いずれも大きく ンも1360 (3・9% 家民宿は1360 (34・ は前年度並みの26万66 7700人で、0・9% 00人 (常雇い14万46 7%増)と伸びている。 家族が17万1100人 減った。内訳は、役員・ 民宿は399万円(37・ おける総従事者数は43万 1%増)、農家レストラ (2・0%減)、雇用者 ンは2623万円(7· また、全国の同事業に 5%減) とそれぞれ減っ 物直売所は と増えたのに対し、農産 100人 (7・1%増) ると、農産加工が19万2 は1万28 %減)、農 農園は3万3700人 宿は5700 人 (1:6) 従事者数数 ご希 本紙

達した。 れている石碑は96年に建 記念碑や記念塔がある。 幹産業となっている。 水施設が完成したのは64 五稜神社の境内に設置さ 営まれ、農業が同町の基 畑作、稲作、酪農などが 小麦やバレイショなどの 立されたもので、碑銘は 年のことだった。現在は、 町内には、いくつかの かんがい施設及び飲料 52戸の多きに を去った者は4 の入植者755 戸のうち、現地 史」(87年発行) 戦後開拓四十年 った。「美瑛町 によると、当初 離農者が多か 郷が創られ 年記念碑 〇〇人、臨 いる。 土の大地に成し遂げ、昭 力をもって開拓に励み肥 苦難に耐え、 労働と厳しい自然と戦 林を伐採し、背丈を凌ぐ 明日への希望を抱き、森 り、「先人は、 依って開拓された」とあ 和56年美園、 ては鍬を入 笹を刈り跡地を焼き払っ 総数254 戸、五稜地区181戸の 者全員の氏 ている。裏 合併を経て、 い、粗衣粗食など多くの 碑文には「 「美瑛町五稜開基五十周 拓魂」。 名が刻まれて 面には、 建立 た」と記され れる、過酷な 尸の入植者に 「美園地区73 、新地開拓に 今日の五稜 五稜地区の 不屈の精神

ている。 0 0 0 0 0 0 0 0 者の約7割 だった。雇用 を業態別にみ を女性が占め 時雇い12万2

全国開拓振興協会

(22・9%減)、農家民 0 10 10 家レストラン 〇 26 0 %減)、観光 19万3400 25 日

望の方はお知らせ下さい。

# 動 5

開拓組織の

のとおり。 る、開拓組織及び関係機 関・団体の主な行事は次 にかけて予定されてい 27日 岩手花平農協第57 5月後半から6月下旬 回通常総会

10日 全日本開拓者連盟 11日 全日本開拓者連盟 6 月 中央常任委員会 第76回通常総会 打合せ会議 畜産・酪農政策要望 全日本開拓者連盟 全国開拓振興協会 全開連理事会

23日 佐賀県開拓畜産事 24日 肥後開拓農協第13 協第5回通常総会 畜産・酪農政策要請 第9回定時総会 全日本開拓者連盟

30日 開拓ながさき農協 49回通常総会 回通常総会 第12回通常総会 協第21回通常総会 福岡県畜産農協第 ジャパンビーフ農

は無償で提供しています。

た。同町が今年の3月に

甲郡愛川町にある「中津

神奈川県中央北部の愛

製作した「愛川百年旅S

台地」は戦後開拓地だっ

地』」で、開拓の歴史や PECIAL『復活の台

陸軍飛行学校相模分教所

を開校したが、わずか4

経緯が紹介された。

現在の愛川町

中津台地は

年で終戦を迎えた。

中津村)に位 中津地区(旧

# 農業従事者 の感謝 66 %

# 原産地など食の安全に関心 農林中金

ぐ食」その実態と意識」の 日、「第4回『世代をつな る人が多い。 0人が対象。 「食」に関し は、原産地を確認してい 7割に迫り、食の安全で 調査結果を公表した。東 感謝の気持ちがある人が ては、農業従事者らへの 任む30~55歳の母親40 泉近郊(20~50km圏内)に 農林中央金庫は4月27 ▼食への意識 の気持ちを持っている。 4 浮増など。 コロナ禍で ることに対して」が8・ 対して」が2・0浮減、 ものが食べられることに 気持ちがあるか(396 7・8浮増、「おいしい 漁業従事者に対して」が は図のとおり。 で、ほぼ全ての人が感謝 「食べ物のいのちを食べ (、複数回答) 」の結果 「どんなことに感謝の は若年層ほど、それぞれ

年)調査比1・7 浮増 わせて99・0%{前回(15 てもある」「まあある」合 気持ちがあるか」は、「と 「『食』に関する感謝の ものが食べられること」 事者に対して」は年代が 上がるほど、「おいしい みられる。「農業・漁業従 心理的な影響もあると

情

報

開

戦後囲逝地『中津合地』の歴史伝える

拓

8% (5・5 浮減)、「な た。「原産地を確認」は がっている項目が多かっ 高い傾向がみられた。 などが高いが、割合が下 るべく手作りする」が55 産地を確認する」が73・ めに実行していること だった。「食の安全のた を合わせた「関心がある」 • 0% (5• 0 | | 0 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | は55・3%(0・5 浮増) が50・5%(16・3浮減) (複数回答)」では、「原 てもある」「まあある」 「食品表示をよく読む」 「食の安全」では、「と が高かった。 いる。40代で最も正解率

「これからの農畜水産

物への要望 (複数回答) 」 い」は50代で特に高い。 増)など。「3分の2くら

神奈川県愛川町が映像資料製作 ば強制的に当時の陸軍省 が用地買収を決定。熊谷 も、その経緯が記されて 11の農事実行組合が入

7年経った当時の、飛行 が映し出されている(写 ートの構造物を活かし、 農地にできた場所も土が が育たない場所もあり、 田んぼにしようとする姿 った。映像中には、戦後 耕土を取ったため農作物 した。飛行場にした時に 場の建物だったコンクリ 硬く、骨の折れる作業だ 上った。

料難が深刻だったことか

り、開拓が始まった。食

して開墾することにな

戦後すぐに再び農地と

ら、国から開拓の許可を

土地の管理を委託されて 待つ時間が無いと判断。

いた中津農業会が旗揚げ

3代と5代の間には15岁 以上の差があった。 年代が上がるほど高く、

でトップ

# ◆日本の農業や食につ

が39・5%(8・8 浮減)、 ついて」は、正解(概数) ・2 浮増) と、4分の1 の「40%」は25・0%(1 にとどまる。「30%以下」 (4・5 浮増) となって 50%以上」は24・5% 「日本の食料自給率に

2くらい」が49・0%(6 きと思うか」は、「3分の い」が37・3%(5・5) ・3浮減)、「半分くら 「どの程度自給するべ 5・8ば増加している。 の他では「抗生物質を使 っていない」が49・8%で 7浮減)となっている。こ が81・0%(5・0 湾増)、 「安い」が53・3%(0・ ◆食生活の実態

り、ブロックで仮割り当 てをして開墾作業を開始 始められた。現在も同地 にある「開墾記念碑」に 歩の開墾が完了。米の 点での中津地区の農業 が生産された。50年時 年11月には約220町 ほか、タバコや茶など 人口は、1546人に 作業が始まった翌46

拠点として、かつての 構想が提示され、5年 県から内陸工業団地の 農地から生まれ変わっ 最大規模の工業団地と 業団地」が完成。県内 なり、現在も一大流通 った61年、中津地区に 後に「神奈川県内陸工 に姿となっている。 農地になって15年経

# どんなことに感謝の気持ちがあるか(複数回答) 24.2 その他 関係者に対して食に関する流通

(%) 80 70 60 65.9 65.9 62.6 58.1 50 対して食べ物のいのち れることに対しておいしく食べら 対して自然の恩恵に に対して農業・漁業従事者 農林中央金庫の資料から

・8浮減)、「見た目の 費期限」が69・5%(1 ・2 浮増)、「賞味・消 層で高い傾向だった。 新鮮さ」が8・5%(4 「賞味・消費期限」は高 「原産地」が若年

生産」は、「している」 円増)と大幅に増加した。 で横ばい。自家生産して 力1195円(7411 「家庭での野菜の自家

# 消費者庁 高年代層ほど問題認知度高 20 年度

40 30 20 10 今年3月に全国の18歳以 を対象に実施したもの。 の結果を公表。同調査は 組状況等に関する調査 →の消費者(男女5千人)

は、「安全な」が95・8% (1・5 浮滅)、「おいしい」 3つまで複数回答)」は、 「価格」が71・0%(7 の消費者は問題を知らな 8浮減)と約8割で、ほ る。依然として、約2割 程度知っている」)は、 く知っている」+「ある ぼ横ばいで推移してい 79・4%(前年度比0・ ロス問題の認知度」(「よ いという状況が続いた。

それによると、「食品

(%)

特に気を付ける点(上位 「生鮮食品を選ぶ時に

> 20年度の「消費者の意識 に関する調査結果報告書 消費者庁は4月27日、 食品ロスの認知度と取 まり知らない」+「全く た。高年代の層ほど高い 傾向にあった。 知らない」)という回答 一方、「知らない」(「あ 食品ロス意識調査 かがえた。 む人」の割合は76・6% 代層と若年 を認知し、 大きな差が また、

めることがう 代層で意識に

1 浮増)、「冷凍保存を

食べる」 69・5% (2・

答)」では、「残さずに

が多かった世代は、20歳

代の34・1%(0・9浮

減)、30歳代の3・1%

横ばい。問題を認知して

(0・1 | | 7 | で、ほぼ

れるか判断する」4・1

(2・0 | | 7 | | の順で

削減に取り組

過ぎてもすぐに捨てるの

ではなく、自分で食べら

食品ロス問題

活用する」46・4%(1

いる人のほ

とんどは、削

増)となっており、高年 歳の29・8%(3・8学 (4・6 浮増)、18~19 70.2 65.9-66.8-にあること 減に取り組み 75.8 んでいる傾向 がみてとれ 93.1 40% み内容は、いずれも増え した。 ている。それに対して、 多かった。主要な取り組 おいしく食べることがで のため、「賞味期限は、 ない」の割合は、10・3 等によって、消費者への れなくなる期限ではない きる期限であり、食べら としている。また、小売 ことに留意してほしい」 **占などでのポスター掲示** 「取り組んでいることは 同庁は、食品ロス削減

79.4 18~19歳 (114人) 20歳代 (592人) 30歳代 (746人) 40歳代 (883人) 50歳代 (741人) 60歳代 70歳代以上 (1,056人) 晋及・啓発活動を行って

食品ロス問題の認知度

# 新 ) ( ※ シーズン!消費拡大図る 日本茶と暮らそうプロジェクト

|% (2・9 浮減) と続い

歳代が87・5% (1・2 高い(図)。次いで、

% (1・4 | | 4 | | 2 | 長も

60

と、70歳代以上が93・1

年代別に認知度をみる

わせて、 ジェクト」を実施してい と連携し、3月30日から る。新茶のシーズンに合 茶業中央会等の関係団体 「日本茶と暮らそうプロ 農水省は(公社)日本 茶の消費を喚起

より家庭でのリーフ茶の な打撃を受けた。 ており、茶の在庫量は減 消費量や輸出量は増加し 一方、巣ごもり需要に

見られている。より一層、 少傾向で、明るい兆候も

③各産地の

新茶イベント

望まれる。

中止、観光需要や葬儀用 響から、新茶イベントの により、20年産の茶は生 などの業務用需要の減少 染症の感染拡大などの影 目指す。 を拡大して 場面で茶を 主な取り組 組み内容は、 楽しみ、消費 らしの様々な もらうことを 情報などを同省ホームペ

(旬)をロゴマーク(図) を北上する、 茶シーズン の事業(国産農林水産物 ージ等で収集・発信④国 拡大の取り組みの推進― キャンペーンなどの販路 等販路多様化緊急対策事 業)も活用した、茶のイ ンターネット販売・販促

産量・売上額ともに大き

①日本全国

各産地の新

SNS等(同省の公式S の魅力を発信 ②動画などの を使い、茶 費拡大につながることが を逆手に取り、お茶の消 などとなっている。 コロナ禍の厳しい状況

NSも含む)

産地やお茶の

でアピール

新茶の季節が始まりました。

ていたが、半 モや桑を育て いた。サトイ 業が営まれて まる前から農 戦後開拓が始 置しており、

を待たずに開拓の作業が 役となり、国からの許可

新型コロナウイルス感

た。

めの取り組み(複数回 「食品ロスを減らすた

報告書

# ほ場の排水路確保で備えを 豪雨への対応、今一度確認

昨年7月に、全国各地で豪雨による 河川氾濫や土砂災害が発生した。近年、 毎年のように豪雨災害が発生している ことから、事前の対策や発生後の対応 について確認しておきたい。

# 【共通事項】

ほ場への雨水流入に備えて、排水路 の確保に努める。排水ポンプなどを用 いる場合は、事前に保守点検し、速や かに作業が行えるようにする。

降雨時は、人命を最優先とし、大雨 異常出水時には、農地や施設等の見 回りは行わない。雨が治まった後も、 増水した水路などには近づかず、ほ場 では転落・滑落事故に注意する。

降雨後は、ほ場の冠水・浸水・過湿 により病害虫の被害を受けやすい。各 防除所から発表される発生予察情報に 基づき、適期防除に努める。また、浸 水した農業機械へ通電する時は、漏電 やショートに注意する。

### 【野菜の事後対応】

ほ場が冠水した場合、根の生育は著

しく抑制される。地上部と地下部のバ ランスが取れるように生育の回復・維 持に努める。わずかな天候回復時を逃 さず狙い、追肥・農薬散布などを行う。

根の露出や固く締まった畝間のある 露地ほ場は、中耕や土寄せを行い根元 がぐらつかないようにする。ハウス内 は、湿度が過剰にならないよう通風や 採光を行う。果菜類では、根傷みによ る草勢低下を防ぐため、摘果や若採り により着果負担を軽減する。

#### 【果樹の事後対応】

園内の水たまりは早急に排水し、根 腐れを防止する。園地全体に堆積した 土砂を取り除くのが難しい場合は、樹 **冠下部だけでも取り除く。すぐに取り** 除けない場合には、撤去までの応急措 置として、土砂の乾燥を待ってからシ ャベルなどで割れ目を入れて土壌の通 気を確保する。

2021年(令和3年)5月15日

土壌が流され根が露出している場 合、客土を行い根の乾燥を防ぐ。応急 的には、シートやマルチで根を覆う。

浸水した樹は、水没した部分の果実 をつけたままにしておくと、樹体に負 担がかかるので、摘果する。

### 【茶の事後対策】

土壌流亡が激しい場合には、客土や 堆肥の施用などにより作土層を確保す るとともに、必要に応じて追肥を行う こと。幼木園で、株元の土が流亡した り、茶樹が横倒しになったりしている 場合は、速やかに土寄せを行い踏み固 めることが重要。また、欠株が生じた 場合は、秋以降に補植を行う。

# 降雨後は病害虫増加に注意 天候回復時ねらい追肥・農薬散布

# 指定野菜 春・夏秋ともに3%減少 高齢化で作付面積縮小の品目も

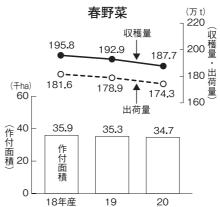
農水省が4月28日に公表した「20年 産指定野菜(春野菜、夏秋野菜等)の 作付面積、収穫量及び出荷量」による と、前年産に比べて春野菜・夏秋野菜 の全国の収穫量はともに3%減少し た。

#### 春野菜

作付面積は、前年産に比べ600ha (2%) 減少して3万4700ha。収穫量 は5万2000 t (3%)減の187万7000 t、 出荷量は4万6000 t (3%)減の174万 3000 t となった。

品目ごとの収穫量をみると、前年同 率の春キャベツ以外全ての品目で減 少。最も減少率が大きいのは、春ダイ コンと冬春ピーマンで5%減。次いで、 春夏ニンジンと冬春トマトの4%減と なっている。

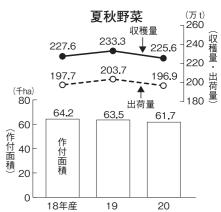
また、春ダイコンと春レタスは、生 産者の高齢化による作付中止や規模縮 小などがあったため作付面積が減少し



## 夏秋野菜

作付面積は、1800ha (3%) 減の6 万1700ha。収穫量は7万7000 t (3%) 減の225万6000 t、出荷量は6万8000 t (3%)減の196万9000 t となった。

品目ごとの収穫量をみると、夏秋ピ ーマンのみ2%増加した。夏秋トマト は前年同率で、その他全ての品目で減 少した。特に減少率の多い品目は、夏 ハクサイの9%減、夏ダイコンの7% 減、秋ニンジンの5%減などとなって いる。



夏ハクサイでは長野県で関係機関等 が秋冬への作期の誘導を行ったことな ど、夏秋ナスは生産者の高齢化による 作付中止や規模縮小などが影響し、作 付面積が減少した。

#### タマネギ

作付面積は400ha (2%)減の2万 5500 ha。 10 a 当たり収量は150 kg (3%) 上回る5300kg、収穫量は1万 7000t(1%)増加し135万1000t、出 荷量は前年産並みで121万3000 t とな った。

# 導入による経営評価の結果も記載 農研機構、緑肥利用で作業手順書公開

農研機構はこのほど、「土づくりと 減肥のための緑肥利用標準作業手順 書」をホームページで公開した。緑肥 の導入による土づくりや減肥の方法を 具体的に記載している。

緑肥作物の利用に関するマニュアル 等は、これまで一部の都道府県などか ら出されていた。しかし、どの程度の 土づくりの効果が期待できるのか、導 入後にどのくらいの化学肥料を削減で きるのかなどについては、これまで十 入に当たっての注意点などを解説。 分に示されていなかった。

立つこと、緑肥導入後に化学肥料を削 て所得を試算している。 減できることが具体的な数字で示され ている。導入事例や栽培試験から得らが高い状況にある昨今、緑肥の導入 れた経営評価の結果も紹介している。

緑肥の効果」「緑肥の使い方」「緑肥 いる。

作物の種類ごとの導入技術」の3部 構成となっている。

同手順書に記載のある緑肥作物 は、ソルガム・エンバク・ライムギ ・ヘアリーベッチ・クロタラリアと なっている。作物や緑肥としての特 徴、品種の種類と選び方、栽培方法、 すき込み時期の決め方とすき込み方 法、主作物の栽培開始時期や減肥可 能量の決め方と減肥栽培の方法、 実際の導入事例や経営評価結果につ 同手順書には、緑肥が土づくりに役いても紹介し、収量の増減を踏まえ

同手順書では、「化学肥料の価格 ① によって土づくりや施肥のコスト削る 内容は、「土づくり・減肥に役立つ 減を行うことが期待される」として

# 葉裏にも薬剤散布 ミカンハダニに注意

カンキツ類の主な害虫であるミカン ハダニは、新葉を加害することによっ て光合成機能の低下を引き起こす。同 虫は増殖力が高く、発生量が増えると 防除が難しくなる。今後、気温上昇に より増殖が加速すると予想されるた め、早めの防除を心がけたい。

# 発生しやすい期間・条件

年間を通してカンキツ類に寄生す る。梅雨までの期間に発生しやすく、 梅雨開け後に温度が高くなると発生は 落ち着く。秋頃にかけて気温が下がっ てくると、再び発生が多くなる。年間

で10世代程度を繰り返す。

特に、施設栽培では雨に当たること がないため、ハダニにとって好適な環 境が保たれる。そのため、発生は多い 傾向にある。

## 防除上の注意

越冬期から発芽前にかけてマシン油 乳剤で防除を実施していない園では多 く発生する恐れがあるので、注意する。 発生が認められる場合には薬剤散布を 行う。

その際、密植や過繁茂に注意し、薬 剤の散布ムラがないよう、葉裏にも十 分薬液がかかるように散布する。なお、 虫の抵抗性の発達を防ぐため、系統の 異なる薬剤のローテーション使用を心 がける。

# 牛群検定で飼養管理の問題把握 乳タンパク質率はMUNとセットで検討

家畜改良事業団は3月30日、ベストパフォーマンス実践セミナーをオンラインで配信。「牛群検定情報の活用」と題し、乳量編・乳成分編の2編にわたって、家畜改良アドバイザーの渡邊徹氏が講演した。

#### ~乳量~

分娩直後の「飛び出し乳量」の飛び 出しが速く最高乳量の高い牛は、繁殖 成績が悪い傾向があり、生涯生産乳量 が低くなりやすい。生涯生産乳量を増 加させるためには、繁殖成績が良く平 均搾乳日数の少ない泌乳持続性の高い 牛群にする必要があり、右図の考え方 を理解することが求められる。これに より、無理なく牛を健康に飼い、乳量 を増やすことができる。

毎月届く検定成績表(以下、同じ)の「牛群成績」では、「移動13ヵ月成績」により、飼養管理改善の1年間の成績を確認することができる。「検定日乳量階層」の表は、牛群全体として分娩後の飼養管理が上手く行っているかが分かる指標となっている。

「移動13ヵ月成績」では、直近1年 の乳量が分かる。乳量と乳成分の推移 をみて大きく変動している場合には何 か問題があるため、原因を検討する。

「検定日乳量階層表」は初産と2産 以上が分けてあるため、飼養管理の変 更が必要な点も把握することができ、 泌乳持続性もみることができる。

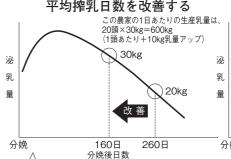
「個体検定日成績」は検定牛の健康 状態がよく分かる表。分娩後45日と150 日に太い実線が引いてあり、分娩後の 飼養管理の適否も見つけられる。

「個体累計成績」は古い牛から順に並んでおり、「305日実量または期待量」は年間の出荷乳量の予測に役立つ。「補正乳量」は、3産以上の牛と単純比較できない初産牛などを考慮し、同じ土俵で比較できるようにしてある。後継牛の選抜の予測などに役立つ。

#### ~乳成分~

乳成分は飼養管理が上手くいっているかの指標。乳脂率・乳タンパク質率・MUN(乳中尿素窒素:飼料中のタンパク質が効率的に利用できていないと

# 生産乳量をアップさせる方法1



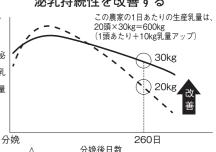
繁殖成績がよくなると、分娩後300日以上経つような乳量の少ない牛が減り、泌乳最盛期や泌乳中期の牛が主体となるため、平均乳量が増加する、という考え方

高値になる)・無脂固形分率は飼料給 与が適正であるかの指標となる。それ ぞれの成分は互いに関連するため、1 つの成分をみて対策を行うのではな く、各成分をみながら行う。

乳量と同じように、「移動13ヵ月成績」の乳成分をみる。これは牛群全体の平均値を現しており、バルクの成分といってよい。この表の数字は牛群全体の平均値のため、飼料設計が失敗している時や牧草成分の変動が大きい場合はバランスが崩れている。飼料の管理の良し悪しを示している表ともいえるため、不備が無いかを検討する。

次に、「検定日乳量階層表」をみる。 分娩後の飼料給与が順調かが分かる。 乳タンパク質率は常にMUNとセッ

#### 生産乳量をアップさせる方法2 **泌乳持続性を改善する**



繁殖持続性が高い牛群は最高乳量が高くなくて も、泌乳中期以降の乳量が低下しにくいため、 乳期トータルでみると乳量が多くなる、という 考え方

家畜改良事業団の資料から

トで検討する。繁殖と密接な関係があり、数値が低い場合には成績が悪化する。受胎には乳タンパク質が3.2%程度は必ずほしい。それより低い値で受胎することがあるが、流産や早産の可能性が高くなるため注意が必要。

セットで検討すれば飼料給与の良し 悪しが分かる。飼料中のタンパク質と エネルギーのバランスが大切となる。 季節の変動・飲水の環境も関与する。 MUNは高すぎる場合は肝機能低下、 低すぎる場合も飼料摂取不足や発育不 良で、いずれも受胎率が低下するため 注意がいる。

1つの成分値だけでなく、乳量やその他の成分値も加味して検討することが重要となる。

# 牛体清潔に保ち生産性向上 乳房炎治療頭数率に9%の差

衛生管理を徹底する ことは生産性の向上に 繋がるが、実証データ は多くない。そこで、 兵庫県朝来市の朝来家 畜保健衛生所が管内農 家の飼養衛生管理基準 の順守状況と生産性の 関連を実証したので、 概要を紹介する。

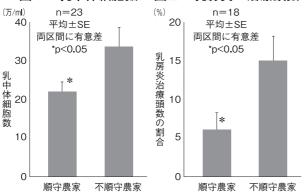
### ①基準順守状況

順守状況は、17年4~5月に管内酪農家34戸に確認した。「防疫情報の把握」「衛生状態の確保」などの大項目8項目、大項目に含まれる細項目31項目について、A~Cの3段階で判定。大項目全てでA判定を順守農家(以下「順守」)、大項目にBまたはC判定が1つでもあれば不順守農家(以下「不順守」)とした。基準の順守状況は「順守」21戸(62%)、「不順守」13戸(38%)で、守られていない項目は主に、車両消毒や、踏み込み消毒、立ち入り者の記録だった。

### ②生体衛生スコアの調査

同年10~11月に搾乳牛738頭の牛体 衛生スコア(以下、スコア)を下肢・ 乳房・大腿それぞれの汚れを4段階で

# 図1 乳中体細胞数 図2 乳房炎の治療頭数



写真・図ともに兵庫県朝来家畜保健衛生所の提供 評価 (1 浩潔~4 不潔) 1 た。同ス

評価(1清潔~4不潔)した。同スコアは、衛生管理の評価に有用な指標となる。平均値は、順守が1.7、不順守が2.6と、順守が有意に低かった。

#### ③乳中体細胞数及び乳房炎の調査

乳中体細胞数は23戸、乳房炎治療頭数は18戸から結果を得た。乳中体細胞数は順守(15戸)が22.2万/ml、不順守(8戸)が33.6万/mlで、順守が有意に少なかった(図1)。

飼養頭数に占める乳房炎治療頭数率は、順守(10戸)が6.2%、不順守(8戸)が15.1%で、約9%の差で順守が有意に少なかった(図2)。

以上のことから、同衛生所は衛生管 理基準の順守が生産性の向上に繋がる ことが実証されたとしている。

# 衛生管理の意識高まる

### 20年度 養豚農業実態調査

(一社)日本養豚協会は3月31日、20年度の「養豚農業実態調査報告書」を公表した。全国の860経営体(20年8月1日時点)から回答を得たもの。

### ●今後の経営

今後の経営意向(750経営体)では、「拡大」が26.3%(前年度比6.2%減)、「現状維持」が66.3%(8.6%増)など。経営者の年代別では、20・30歳代が53.6%、40歳代で32.1%と、若年層で高い。縮小・廃業予定の理由(84経営体)は「高齢化」32.1%、「後継者がいない」23.8%などとなっている。

### ●衛生管理の意識

飼養衛生管理基準の改正について (758経営体) は、93.0%とほとんどが 認知している。改正内容の理解(746経営体)は「十分に理解している」が40.5%、内容の対応(715経営体)では「自農場で対応できる・完了した」は21.4%にとどまっている。

実施している衛生管理(747経営体)では、「豚舎出入口に踏み込み消毒槽を設置」が88.5%、「入退場車両の消毒」が86.5%、「長靴の靴底の洗浄・消毒」が86.3%の順。いずれも前年から上昇し、衛生管理の意識が高まっている。

### ●豚熱ワクチン

接種率 (745経営体) は、「接種している」が49.9%とほぼ半数。現在の接種価格/頭 (319経営体) は「~400円」が46.1%、「~300円」が43.3%、「~200円」が7.2%の順。接種意向 (350経営体) は、「接種範囲に指定されればしたい」が63.7%、「指定されなくてもしたい」が8.9%となった。

# 乳脂率、無脂乳固 形分率ともに微増 20年 全国集乳路線別調査

(公財) 日本乳業技術協会は20年 (1~12月)の全国集乳路線別生乳成 分調査の成績を取りまとめた。乳業 会社など8協力先から回答を得た。

工場に搬入された生乳をローリー 単位で調査路線数とした。7792路線 (前年調査比141路線減)が対象。1日 当たり全生乳生産量に対する調査乳 量の割合は41.0%(0.6 が減)を占める。 全国の乳脂率の通年平均は、3.930% (0.003 が増)。全国の通年平均を上回 る地域は北海道(3.940%)のみ。

前年と変わらず、乳脂率3.9%以上4.0%未満が最も多く、全体の25.0%(0.9が減)を占める。3.5%以上3.6%未満が1.2%(0.4が減)、3.5%未満が1.0%(同率)となり、3.6%未満の割合は前年に比べて0.4が減少した。

無脂乳固形分率の全国通年平均は、 8.800%(0.009 が増)となった。

# 侵入多い場所特定し點第二十設置 発生本格化前にサシバエ対策を

サシバエの発生ピークは、夏前と秋 口とされている。牛の下腹部や足にハ エが複数いる場合、サシバエである可 能性が高い。

刺された痛みが牛のストレスの原因 になるだけでなく、牛白血病やサルモ ネラ症などの伝染性疾病を媒介する。 発生が本格化する前に対策を確認・実 施したい。

### ①侵入経路の遮断

4km程度の距離を移動でき、牛舎外

から飛来してくる。サシバエに対して は、網目2mmの防虫ネットが効果的と されている。

各所に粘着シートを設置して、サシ バエが多く付着するような侵入されや すい場所を特定することも有効。特に、 風通しが良いところから入ってきやす

侵入の多い場所を中心に、牛舎周辺 の草刈りや防虫ネットの設置を行う。 草刈りには、サシバエの休息場所をな くす効果もある。

年齢層別では、牛肉は70代以上が

7.1%(0.8が減)、豚肉は40代が20.0%

(6.7が増)、鶏肉は20代以下が17.0%

肉類の買い物回数は、「週に1回」

が36.6%(0.5 が増)で最頻値。「週2

回以上」は34.9%(0.9が増)だった。

購入場所は、「スーパー」がいずれの

品目でも圧倒的多数で、牛肉が82.3%

(1.5弥減)、豚肉が85.7%(1.2弥

減)、鶏肉が84.9%(1.1 が減)となっ

ている。また、購入する肉類の種類を

決めるきっかけは、「食べたいメニュ

ー」「作りたいメニュー」が多い傾向

肉類購入時の国産・外国産選択状況

【国産・外国産選択】

(1.5弥減)となっている。

【購入】

にあった。

# ②幼虫段階で駆除

成虫の駆除方法は、殺虫剤 や粘着シートなどによる方法 が主である。しかし、個体数 が多くなってくると駆除は困 難となる。加えて、同様に畜 舎で発生するイエバエと異な り、サシバエの成虫には舐め させるタイプの殺虫剤(毒の 入ったエサ)は効果が薄い。

よって、幼虫のうちに駆除 し、個体数を増やさないこと が効率的。昆虫成長抑制剤 (IGR 剤) を発生源となるよ うな場所に噴霧・散布する。

なお、薬剤などを使う際は ゴーグルや手袋・マスクなど

ARARARARARARARARARARARARARA

を着用して、人体へ影響のないように する。散布する薬剤は、虫の抵抗性発 達を防ぐために、ローテーション散布 を心がける。

2021年(令和3年)5月15日

#### ③発生源の除去

牛舎及び農場内の発生源(卵を産み 付け幼虫が育つ場所)を除去する。畜 舎内の清掃が重要で、除ふん清掃を常 に行っている場所には発生しにくい。 しかし、牛舎の隅で飼料やふんがたま っている場所や、牛舎周辺の側溝や水 たまりには発生しやすい。

堆肥舎では、堆肥の切り返しをせず 堆積したままにすると発生源となる。 発酵熱によりハエの卵は死滅するの で、堆肥の切り返し作業を1週間に1 度は行うようにしたい。

# 翳 選択理由「安心」7割でトップ 20年度 農畜産物等の消費行動調査

(一社) 日本協同組合連携機構 (JCA) は3月26日、「農畜産物等の 消費行動に関する調査結果―20年度調 査」を公表した。同調査は、国内に居 住する消費者2159人(既婚女性、既婚 男性、単身女性、単身男性)を対象に、 20年8月28日から5日間実施したも

## 【摂食頻度】

家庭における肉類(牛・豚・鶏肉) の摂食頻度は、「毎日食べる」と「週 の半分以上は食べる」を合わせた「週 の過半食べる」で、牛肉5.8%(前年度 比0.2%減)、豚肉15.9%(0.8%増)、 鶏肉12.0%(0.1 が減)となっている。

属性別にみると、牛肉は既婚男性が 7.7% (0.4%増)、豚肉は既婚女性が 20.8%(0.6が増)、鶏肉は単身女性が 15.0% (0.1 | 灯減) と、それぞれ最も高 い。また、牛肉は単身男性で6.9%と前 回調査からほぼ倍増した。

# らも買うが国産を買うことが多い」を 合わせた「主に国産を買う」は、いず

では、「国産しか買わない」と「どち

# 耳標センサで情報検知 省力的な肉用牛管理に

九州大学農学部はこのほど、耳標に 貼り付けたセンサから牛の体温や位置 情報をセンシング(計測して数値化) する技術を開発したと発表した。

現在、肉用牛の生産現場では大規模 化・省力化を図るため、ICT(情報通信 技術)が、疾病・発情・分娩兆候の検 知に活用されている。

一方、すでに実用化されている牛の 状態を常に計測してデータを送信する センサは電力を消費するため、取り付 けやバッテリー交換を行うという手間 が発生する。飼養頭数が増えるほど、 この負担は大きくなるため、課題とな っていた。

同大学は、民間企業との共同研究に より、耳標に貼り付けることで牛の体 温と位置情報を検知できるセンサを開 発。得られた情報は、スマホに転送さ れる。

耳標は、牛に生涯装着されているこ とから、センサ取り付けのための手間 を省くことが可能。また、太陽光・無 線での給電システムを導入し、バッテ リー交換なしで半永久的に牛を監視す ることが実現できる。

同大学は、「今後、頭数を増やし、 その精度を上げていく」としている。

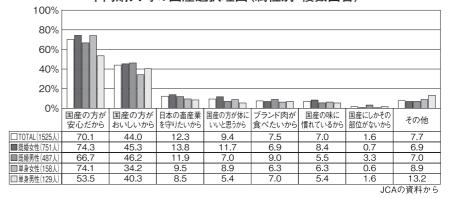
# 牛肉購入時の国産選択理由(属性別・複数回答)

剤

は

日

散



れの品目でも半数を超えている。それ ぞれ、牛肉では51.9%(0.1 が減)、豚 肉は64.6%(0.5 が増)、鶏肉は68.8% (0.9紫減) となっている。いずれの品 目も、既婚女性が最も高い。

牛肉について、国産選択理由は、「安 心だから」がトップで70.1%(2.7% 増)。次いで、「国産の方がおいしい」 が44.0%(1.0が増)、「日本の畜産業 を守りたいから」が12.3%(4.4が増)

と続いた(図)。属性別では、「安心 だから」は既婚女性で74.3%(1.7% 増)と最も高く、単身男性で53.5% (5.9が増)と最も低くなっている。

一方、「主に外国産を買う」は牛肉 で21.7%(0.4が増)。属性別では、単 身男性が最も高い。外国産選択理由 は、「外国産の方が安いから」が83.3% (2.3%減)と、他項目よりも群を抜い て多い。

# 緊急 周年親子放牧導入マニュアル 農研機構ホームページで公開

農研機構は3月31日、「周年親子 放牧導入マニュアル」を公開した。 同機構はこれまで、大学・県・民間 企業と共同で周年放牧の全国的な研 究を行ってきた。同マニュアルは、 その成果をまとめたもの。

中山間地域では、耕作放棄地が増 加しており、獣害の温床となってい る。また、全国的な繁殖農家の減少 が続いており、担い手確保も課題と なっている。

同機構は、耕作放棄地を活用し、 肉用子牛の生産基盤を強化できるよ
ている。 うな新たな手段として、周年親子放 で安定的に行うことができ、牛舎なる。

どを必要としないため、初期投資を低 く抑えられる。耕作放棄地で容易に展 開できるため、新規で行う場合も高い 収益性が期待できる。

内容は、新規参入者も関心が持てる ような構成となっている。周年放牧の 特徴を子牛の生産面・営農面から解説 した「入門編」。計画立案から放牧開 始までの流れと、その後の管理につい て解説した「基本技術導入編」。周年 放牧に有効な10の新技術を解説した 「新技術解説編」の全3部で構成され

同機構は、技術を広く普及すること 牧に着目。母牛の哺乳能力を活用すが狙い。同機構ホームページの「刊行 ることで、子牛の育成を手軽・簡単物」からマニュアルをみることができ

# 牛枝肉

低価格指向で乳 牛・交雑種の引 き合い強まるか

4月は新型コロナウイルスの感染拡 大が続き、25日には3度目の緊急事態 宣言が発令された。外出自粛が強まる 中、家庭内消費等により、牛枝肉相場 は各品種とも堅調に推移。特に、交雑 種(F<sub>1</sub>)の引き合いが強かった。コロ ナ前の一昨年4月の相場と比べると、 各品種の価格は同水準もしくは上回っ ている。

【乳去勢】4月の東京市場の乳牛去 勢B2税込み平均枝肉単価(速報値、 以下同じ)は1039円(20年同月比120%、 19年同月比98%) となり、前月に比べ 49円上げた。

農畜産業振興機構の需給予測による と、5月の乳用種の全国出荷頭数は2 万4400頭(98%)と引き続き前年同月 を下回ると見込んでいる。

【F1去勢】4月の東京市場の交雑種 去勢税込み平均枝肉単価は、B3が 1715円(20年同月比144%、19年同月比 105%)、B 2は1585円(154%、105%) となった。前月に比べそれぞれ115円、 124円上げた。

同機構は、5月の交雑種の全国出荷 頭数を1万7600頭(102%)と引き続き 前年同月を上回ると見込んでいる。

【和去勢】4月の東京市場の和牛去 勢税込み平均枝肉単価は、A4が2642 円(20年同月比157%、19年同月比 109%)、A3は2496円 (165%、112%) となった。前月に比べそれぞれ52円、

94円上げた。

相

推

同機構は、5月の和牛の全国出荷頭 数を3万5600頭(101%)と引き続き前 年同月を上回ると予測。牛全体では7 万9000頭(100%)と見込んでいる。

> 5月の輸入量は総量で4 万6600 t (93%) と引き続 き減少を予測。内訳は冷蔵 品2万600 t (100%)、冷 凍品2万6000 t (88%)。 冷蔵品は、北米からの入船 遅れの影響に加え、豪州及 び米国における現地価格の 高騰等の影響があるもの の、前年の輸入量が少なか ったことから、前年同月並 みと予測。冷凍品は、冷蔵 品と同様の影響等により、 前年同月を大きく下回ると 予測している。

> 緊急事態宣言の期間が延 長され、外食需要の停滞が

続く見通し。一方、内食需要の増加で、 量販店などでの販売は好調に推移する とみられる。消費者の低価格指向から、 乳牛去勢や交雑種の需要が高まるか。 相場は、緊急事態宣言による影響が大 きく、総じて弱含みの展開が予想され

向こう1ヵ月の東京市場の税込み平 均枝肉単価は、乳牛去勢B2が950~ 1000円、 F<sub>1</sub>去勢B 3 が1600~1700円、 B 2 は1450~1550円、和牛去勢A 4 が 2500~2600円、A3は2350~2450円で の相場展開か。

# 4月の子牛取引状況

(頭、kg、円)

|       |             |     |         |         |     |     |          |          | (別/1   | (g, H) |
|-------|-------------|-----|---------|---------|-----|-----|----------|----------|--------|--------|
| -yi , | ロック         | 品種  | 頭 数     |         | 重 量 |     | 1頭当たり金額  |          | 円/kg   |        |
|       |             |     | 当月      | 前月      | 当月  | 前月  | 当月       | 前月       | 当月     | 前月     |
| 北     | 海道          | 乳去  | 696     | 668     | 289 | 283 | 241, 799 | 231, 484 | 837    | 818    |
|       |             | Fi去 | 1, 296  | 1, 218  | 320 | 315 | 390, 559 | 395, 310 | 1, 220 | 1, 255 |
|       |             | 和去  | 1, 383  | 1,733   | 313 | 307 | 851, 388 | 815, 692 | 2,720  | 2,657  |
| 東     | 北           | 乳去  | 4       | 2       | 260 | 238 | 195, 525 | 115, 500 | 752    | 486    |
|       |             | Fi去 | 4       | 5       | 276 | 222 | 247, 775 | 242, 220 | 899    | 1,089  |
|       |             | 和去  | 1, 934  | 2, 245  | 306 | 305 | 771, 044 | 780, 273 | 2, 520 | 2, 561 |
| 関     | 東           | 乳去  | 23      | 21      | 263 | 302 | 258, 691 | 273, 062 | 983    | 903    |
|       |             | Fı去 | 31      | 78      | 292 | 304 | 339, 580 | 421, 822 | 1, 163 | 1, 387 |
|       |             | 和去  | 989     | 769     | 264 | 265 | 786, 796 | 757, 717 | 2, 981 | 2,863  |
| 北     | 陸           | 乳去  | _       | _       | _   | _   | -        | _        | _      | -      |
|       |             | Fı去 | 1       | 1       | 268 | 185 | 289, 300 | 178, 200 | 1,079  | 963    |
|       |             | 和去  | 127     | 51      | 278 | 280 | 822, 878 | 772, 372 | 2, 961 | 2, 758 |
| 東     | 海           | 乳去  | 13      | 7       | 284 | 276 | 238, 276 | 243, 100 | 839    | 881    |
|       |             | Fı去 | 51      | 58      | 311 | 312 | 414, 656 | 433, 077 | 1, 333 | 1, 388 |
|       |             | 和去  | 288     | 506     | 255 | 249 | 877, 914 | 886, 043 | 3, 439 | 3, 554 |
| 近     | 畿           | 乳去  | 1       | _       | 168 | _   | 130, 900 | _        | 779    | -      |
|       |             | Fı去 | _       | 1       | _   | 102 | -        | 88, 000  | _      | 863    |
|       |             | 和去  | 374     | 462     | 262 | 259 | 722, 641 | 699, 604 | 2, 754 | 2,697  |
| 中     | 四 国         | 乳去  | 80      | 70      | 277 | 272 | 237, 201 | 223, 284 | 856    | 821    |
|       |             | Fı去 | 237     | 195     | 310 | 297 | 417, 642 | 438, 448 | 1, 347 | 1, 476 |
|       |             | 和去  | 1, 035  | 856     | 285 | 287 | 815, 536 | 806, 986 | 2, 865 | 2,811  |
|       |             | 乳去  | 35      | 32      | 281 | 295 | 215, 568 | 219, 656 | 768    | 746    |
| 九州    | ・沖縄         | Fi去 | 398     | 386     | 314 | 306 | 460, 355 | 453, 439 | 1, 467 | 1, 484 |
|       |             | 和去  | 7, 084  | 9, 388  | 292 | 288 | 853, 744 | 833, 571 | 2, 927 | 2, 893 |
| 全     | 国           | 乳去  | 852     | 800     | 286 | 283 | 240, 344 | 231, 196 | 840    | 817    |
|       |             | Fi去 | 2, 018  | 1, 942  | 317 | 310 | 406, 998 | 412,724  | 1, 284 | 1, 331 |
|       | (XL) ## === | 和去  | 13, 214 | 16, 010 | 292 | 289 | 829, 910 | 816, 789 | 2, 842 | 2, 826 |

(独) 農畜産業振興機構の公表データを基に本紙集計、当月は暫定値。 価格は消費税込み、重量・金額・単価は加重平均。 - は上場がなかったことを示す。 関東ブロックは山梨県、長野県、静岡県を含む。

# 量販店で「和牛」取扱増加

21年度上半期の食肉販売見通し

果(21年度上半期)」を公表した。 同機構は年に2回、食肉(牛・豚・ するアンケートを実施している。量れている。 販店では、和牛のみ増加の見込みと なった。

○量販店(調査対象企業20社):20 年度下半期(20年10月~21年3月) の取扱実績(重量ベース、以下同じ) は牛肉が31%、豚肉が44%、鶏肉が 加した一方、鶏肉は5 が減少した。

販売見通し(前年同期に比べ「増加」 : 「同程度」「減少」で区分、以下同 じ)は、和牛・輸入牛肉・国産鶏肉 で「増加」が「同程度」を上回って

農畜産業振興機構は4月28日、小いる。全ての食肉で「同程度」と「増 売業者(量販店、食肉専門店)など 加」の計が6~7割を占め、堅調とみ を対象とした「食肉販売動向調査結 られる。増加割合が高い和牛(35%) の理由は、「特売回数の増加」が挙げ られた。全畜種の減少理由として、「コ 鶏肉)の取り扱いや販売見通しに関 ロナによる特需の反動」が多く挙げら

> ○食肉専門店(63社):20年度下半期 の取扱実績は、牛肉46%、豚肉36%、 鶏肉18%だった。前年同期と比べ、牛 肉が2 が増、豚肉は同率、鶏肉は2 が 減少した。

21年度上半期の販売見通しは、全畜 25%となった。前年同期と比べると、 種で「同程度」が最も多い。国産・輸 🚦 牛肉が4が、豚肉が1がそれぞれ増 入豚肉と国産鶏肉では増加が減少を上 回っている。中でも増加割合が高い国 21年度上半期(21年4~9月)の 産豚肉(22%)の理由は、「消費者の 低価格志向」が多い。牛肉は「減少」 の割合が他畜種より高く、理由として は「消費者の低価格志向」が多く挙げ られた。

# 豚枝肉

家庭消費向けの 需要で、もちあ いの相場展開か

4月の東京食肉市場の豚枝肉税込み 平均単価は、上物が493円(前年同月比 81%)、中物は461円(78%)だった。 前月に比べそれぞれ13円、16円上げた。 内食需要が引き続き堅調で、上物、中 物とも、もちあいの展開となった。

農水省の肉豚生産出荷予測による と、5月は132万7千頭(前年同月比 103%、平年比99%)、6月は127万6千 頭 (96%、99%) と平年をやや下回る と見込んでいる。

農畜産業振興機構の需給予測による と、5月の輸入量は総量で7万2700 t (前年同月比91%) の見込み。内訳は 冷蔵品3万3100 t (99%)、冷凍品3

万9600 t (85%)。冷蔵品は、現地価 格の高騰等の影響があるものの、前年 の輸入量が少なかったことから、前年 同月をわずかに下回ると予測。冷凍品 は、冷蔵品と同様の影響に加え、前年 の輸入量が多かったこと等から、前年 同月を大きく下回ると見込んでいる。

緊急事態宣言の期間が延長され、イ ベントや外食などの需要は望めないも のの、家庭消費向けの需要により、底 堅い展開が継続するとみられる。出荷 頭数が平年をやや下回って推移すると 予測されていることや、輸入量が減少 していることから、もちあいの相場展 開が予想される。

向こう1ヵ月の東京食肉市場税込み 平均枝肉単価は、上物が480~500円、 中物は450~470円での相場展開か。



乳素牛・和子牛 もちあい、スモール は強もちあいか

【乳素牛】4月の乳素牛の全国1頭 当たり税込み平均価格(左表、月末の 取引結果を除く暫定値)は、乳去勢が 24万344円(前年同月比108%)、F<sub>1</sub>去 勢は40万6998円(102%)となった。前 月に比べ乳去勢は9148円上げ、F<sub>1</sub>去勢 は5726円下げた。F1去勢は、北海道で 弱もちあいだった。

両品種の枝肉相場は概ね堅調に推移 していることから、素牛相場はもちあ いの展開か。

【スモール】4月の全国23市場の1 頭当たり税込み平均価格(農畜産業振 興機構調べ、暫定値)は、乳雄が11万 9355円(前年同月比106%)、F1(雄雌

含む)は18万6909円(91%)となった。 前月に比べ、乳雄は1913円下げ、F1は 1万5944円上げた。取引頭数は前年同 月に比べ、乳雄は引き続き下回り、F1 は上回っている。

両品種の枝肉・素牛価格が安定して いることから、強もちあいで推移か。

【和子牛】4月の和子牛去勢の全国 1頭当たり税込み平均価格は、82万 9910円(前年同月比128%)となった。 前月に比べ1万3121円上げた。来年末 の牛肉需要期の肥育出荷に向けた導入 等により、3ヵ月連続で前月価格を上 回った。

新型コロナウイルスの感染拡大によ る影響から、和牛肉の需要の見通しは 不透明。和子牛の価格は、もちあいの 展開が予想される。